

子ども達に「希望」というエンジンを!



オリンピックが終わりました。スポーツに心血を注いだ経験をもつ者として、また世界の平和を真剣に祈る者の一人として、私にとってオリンピックは非常に特別な大会です。特に学生時代を過ごし、無我夢中でレスリングに情熱をかけた土地であるカナダでの大会とあれば、感慨もひとしお。国が内戦に疲弊しようとも、災害に苦しんでいようとも、他国と戦争状態にあるうとも、スポーツの場では誰もが等しく温かな拍手で迎えられ、胸を張って勝負することができる。そして、全ての選手が堂々と力の限りの戦いを終えた最終日には、国も競技も関わりなく入り乱れて閉会式の場集い、お互いの健闘を称え合う。その姿に、平和の尊さと、国境や人種を越えた人間同士のつながりを感じます。特に今回は、冬のオリンピックとしては史上初なのではないかと思いますが、わが福岡から村田愛里咲選手がフリースタイルスキーの日本代表として出場し、入賞を果たすという大活躍をみせ、私達に大きな感動を与えてくれました。

福岡県では今、小・中学生の体力・学力の低下が非常に深刻な問題になっています。議会でもこれまでこの件に関する質問は何度も重ねられており、来年度の予算案に「ふくおか学力・体力アップ推進費」が計上されるなど対策に向けて動き出しています。しかし、その内容を見てみると、学力・体力増強の根本であるところの「目的意識」を育くむという視点が明確に見えてこないように感じます。子ども達の未来の幸福のためには勉強もスポーツも強制され、訳もわからず義務的にやらされることであってはなりません。

月刊脊振

福岡県議会議員
(南区選出)
ひぐち明
県政活動報告誌



現に、厳しい受験勉強を経て入学した大学で本分たる勉学をおろそかにしてアルバイトに明け暮れ、適性を見極めるチャンスもなく就職し、数年後にそのミスマッチに苦しんで転職や失職の憂き目にあう若者があまりに多く、社会問題の一つになっています。学力・体力の向上が目的になってはいけません。将来の夢に向かって自発的に努力した結果として、学力・体力が伸びてくるという本来の姿を取り戻さねばならないのです。そこで私は、今回の議会でも、子どもの学力と体力の向上について私の考え方を教育長に申し上げ見解を質しました。

大切なのは心を輝かせること

夢や希望があれば、心に生き生きとした輝きが出てきます。その心の状態はそのまま体に表れるものです。そして健全な体をもって勉強やスポーツに取り組めば、おのずと学力や体力も向上していくことでしょう。教育長の答弁では、子ども達に夢を持ってもらうためには発達段階にあわせた実体験を持たせることが重要であるとの認識を示された上で、集団宿泊体験や職業体験を通して学ぶ意欲を向上させ、社会性や職業観を培っていく努力をすること、そしてその取り組みを一層推進させるため、家庭と地域が連携して展開する「教育力向上福岡県民運動」と福岡県教育委員会が一体となって、心豊かでたくましい子どもの育成に取り組むとの力強い決意表明をいただきました。

夢に向かってひたむきに努力し、オリンピックで入賞という大きな栄誉を勝ち取った村田選手も弱冠19歳。福岡の子ども達も彼女のパワーに負けずに自分の進みたい道をいち早く見つけ、それに向かって元気よく突き進んで欲しい。そのサポートができるような福岡県にしていきたい。私、ひぐち明は、弱冠39歳・・・。希望に燃えてこれからも頑張ります。次号では、今回私が議会質問したもう一つの項目であります住宅リフォーム助成制度についてご報告させていただきます。

南区トピックス

転出入関連手続の窓口が混雑する季節がやってきました。混雑緩和のため、また平日に時間が取れない方のために、福岡では3月28日と4月4日、各区役所・出張所を日曜開庁します!もちろん南区役所でも10時から14時まで各種関連届出可能。ご利用下さい。